



# 大利中だより

3号

文責: 校長 新莊悌男

## 40周年記念「体育祭」終わる!

去る5月17日(日)に、平成27年度の体育祭を、創立40周年の記念の行事として開催できました。今年はその記念として、市役所、教育委員会からの御配慮で運動場に塩化カルシウムを散布していただきました。このことで昨年度と比べて砂埃がほとんどあがりませんでした。生徒の健康管理上、本当に助かりました。また、PTAと同窓会から予算をいただき、入場門をリニューアルしました。

さらに、「おおのジョー」くんが特別参加してくれ、40周年にふさわしい体育祭になりました。



「体育祭の様子」

さて、当日は、生徒一人一人が練習で鍛えた力と技をすべて発揮してくれたと思います。生徒の本気度は頂点に達していました。走ったり、踊ったりして、今年のテーマである「チーム大利」ということを意識した動きがいろんな場面で見ることができました。特に、生徒会やブロックリーダーを中心として、心を一つにして、日本一の体育祭を目指してくれたことを本当に嬉しく思います。

## 部活動とコミュニケーション!

6月に入ると部活動が盛んになります。中体連大会やコンクールを控えて熱が入ってくるということです。

ところで、そもそも部活動はどのような「楽しさ」があるのでしょうか。いろいろな考え方があると思いますが、次の4点にまとめてみました。

一つ目は、活動そのものが楽しいということです。

二つ目は、いろんなことを発見できる楽しさがあります。

三つ目は、技術が向上する楽しさがあります。

四つ目は、仲間が集う楽しさがあります。

この部活動の「楽しさ」と大利中学生会の目標である「お互いに思いやりを持って行動し、一人一人が輝ける大利中学校」は、共通する「よさ」があると思います。この「よさ」を育むための手だては、「言葉」です。教師と生徒のコミュニケーションがいかに豊かであるかが生命線です。

唐突ですが、今の社会は、発展すればするほど、子どもから言葉を奪っている気がしてなりません。便利社会になったからです。いや、超(ちょう)便利社会になっています。例えば、コンビニでもものを買うとき、一言も発しなくて買えます。会話なしの買い物です。昔は違いました。

とにかく、コミュニケーションが必要な時代に、ゲームやスマホに惑わされているのが全国的な現状です。しかし、大利中の生徒は、授業や行事、部活動において「学びあい」「教えあい」があることがすばらしいです。今後も、部活動や授業、あるいは、行事でも、教師と生徒のコミュニケーション、生徒と生徒のコミュニケーションが一層豊かになることが期待できます。コミュニケーションの危機は、大利中では無縁のものにしたいものです。

## 朝の「5分間視写」について!

大利中では、毎朝、8時25分から5分間「視写」を行っています。視写とは、手本となるものを見て書き写すことです。このことで、期待している効果は次の3つです。

- ①毎日、同じ時間帯に行うことで、脳の働きを習慣化させることができる。
- ②書き写すスピードが速くなるとともに、文節で読み取ることができる。
- ③メッセージ性の高い手本を準備することで生徒の心をあたためることができる。

脳の活性化タイムとして実施していますが、視写の効用は高いと判断しています。6月は、いじめ根絶運動を展開しますが、その一つとして、視写の中身を友達とのつながりを大切にしていこうとするボエムを手本として準備します。そして、視写の内容をもとに話を広げたり、深めたりして、内容の価値を繰り返しおさえることとしています。大利中の特色の一つを紹介しました。

## 6月の行事

- |           |                 |
|-----------|-----------------|
| 6月 1日(月)  | 大利の日            |
| 6月 4日(木)  | 暴力団追放講座(全学年対象)  |
| 6月 8日(月)  | 交通安全教室(1年生対象)   |
| 6月 9日(火)  | いじめ根絶運動(大利小訪問)  |
| 6月 11日(木) | いじめ根絶運動(下大利小訪問) |
| 6月 12日(金) | 進路説明会(3年生対象)    |
| 6月 15日(月) | 大利の日            |
| 6月 18日(木) | 期末テスト           |
| 6月 19日(金) | 期末テスト、選手激励会     |

\*コミュニティ・スクール大利中は、毎月1日と15日を「大利の日」と名付けて、地域の方、PTA、大利小、下大利小の協力のもと、朝の登校時間にあいさつ運動をしています。